

科 目 名：歯学スタディ・スキルズ

担 当 教 員：小野 和宏、大島 勇人、秋葉 陽介、西山 秀昌、Stegaroiu Roxana、鈴木 一郎、丹原 惇

開 講 番 号：200G4258

開 講 学 期：第1, 2ターム

水 準：11

単 位 数：2単位

対 象 学 部 等：歯学部1年生

### 【科目概要】

この授業では、教えられる受け身の学習から能動学習への転換を図るために必要な基礎的能力を育成する。歯学教育ならびに口腔保健福祉学教育の入り口として、主体的な学びの習慣を身につける場となっている。

### 【科目のねらい】

知識基盤社会において生涯にわたって学ぶ習慣を身につけた人材となるために、自ら課題を見つけ、必要な情報を収集、分析、統合し、論理的に思考して問題を解決する能力を習得する。

### 【学習の到達目標】

各回の授業で、図書館の利用方法、情報検索の方法と情報倫理、レポートの書き方や発表の仕方等を学び、これら学んだ知識と技能をもとに、

○レポートを作成する。

○プレゼンテーションを行う。

### 【登録のための条件（注意）】

自宅においてコンピュータを使える環境を整備することが望ましい。

### 【学習方法・学習上の注意】

授業は演習方式で進められる。毎回の授業終了時に小課題が出されるので、自宅等で自主学習を行い、期限までに指定された方法で提出する。課題の提出をもって出席とする。質問等は教員宛の電子メールで受けつける。

### 【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	4/10（金）3限	ガイダンス（小野）	コンピュータの取り扱いに慣れておくこと
2	4/17（金）3限	コンピュータの基本操作（大島）	テキスト第2章、第9章の要点確認
	4限	レポートの書き方（その1）（小野）	
	4限	電子メールの使い方（大島）	
3	4/24（金）3限	インターネット・セキュリティ（大島）	テキスト第1章、第4章の要点確認
	4限	医歯学図書館の利用方法（図書館職員）	
4	5/1（金）3-4限	エクセルの基本操作（丹原）	テキスト第7章の要点確認
5	5/15（金）3限	レポートの書き方（その2）（小野）	テキスト第5章、第9章の要点確認
	4限	情報検索の仕方（図書館職員）	
6	5/22（金）3-4限	デジタル情報の取り扱い（鈴木）	テキスト第3章の要点確認
7	5/29（金）3限	レポートの書き方（その3）（小野）	テキスト第5章、第9章の要点確認
	4限	情報倫理（西山）	
8	6/5（金）3-4限	ワードの基本操作（西山）	テキスト第6章の要点確認
9	6/12（金）3-4限	パワーポイントの基本操作（秋葉）	テキスト第8章の要点確認
10	6/19（金）3限	レポート作成（小野・西山・秋葉・丹原）	課題レポートの作成
	4限	プレゼンテーションの仕方（大島）	テキスト第10章の要点確認
11	6/26（金）3-4限	イメージを形づくる力と三次元空間の把握（片桐）	テキスト第10章の要点確認
12	7/3（金）3-4限	プレゼンテーション作成（鈴木）	発表スライドの作成
13	7/10（金）3限	レポートとプレゼンテーションの修正（小野・西山・秋葉・丹原）	課題レポートおよび発表スライドの修正
		英語で考えよう（ロクサーナ）	テキスト第12章の要点確認
14	7/17（金）3-4限	グループ発表・討論・フィードバック（全員）	発表の準備
15	7/21（火）3-4限	全体発表（全員）	課題レポート提出の準備

### 【成績評価の方法と基準】

レポートとプレゼンテーションにより評価する。レポート（60%）、プレゼンテーション（40%）で、60点以上を合格と判定する。レポートとプレゼンテーションの評価基準は授業時に配布する。

なお、毎回の授業終了時に出される小課題を提出しないものは、成績判定の対象にならない（単位認定されない）場合があるので、十分に注意すること。

### 【使用テキスト】

『大学で学ぶための学習ガイドブック』（新潟大学歯学部編, 2015）

1回目の授業時にテキストを配布する。

### 【参考文献】

参考・推薦図書等については授業時に担当教員が紹介する。

**科 目 名：**早期臨床実習 I B

**担 当 教 員：**藤井 規孝、吉羽 邦彦、石崎 裕子、奥村 暢旦、伊藤 晴江、塩見 晶、長谷川 真奈、伊藤 加代子、佐藤 直子、田中 裕、倉田 行伸、中村 由紀、池田 順行、杉田 典子、大竹 正紀、長谷部 大地、西山 秀昌、濃野 要、Rosales Marcelo、庭野 和明、柴田 佐都子、米澤 大輔、訪諏問 加奈、小田島 あゆ子、川村 都子 (病)、佐久間 充子 (病)、高橋 綾子 (病)、植木 麻有子 (病)、沖津 佳子 (病)

**開 講 番 号：**200DA101                      **開 講 学 期：**第1学期                      **水 準：**13

**単 位 数：**2単位                      **対 象 学 部 等：**口腔生命福祉学科1年生

**【科目概要】**  
 歯科医学学習のスタートに臨み、医療人としての道を歩み始めたことの自覚するため、自ら患者役を体験する「患者役実習」、各専門診療科の治療を見学する「治療見学実習」、新患患者さんを受付、予診、診察、会計まで案内する「患者付添実習」の3つの実習とグループ討議・発表を行う。  
 ※歯科医師としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

**【科目のねらい】**  
 「患者役実習」では、自ら患者となることで、患者さんの肉体的・精神的苦悩を体験し、歯科医師や歯科衛生士等の医療人としての態度や知識、技量を観察する。「治療見学実習」では、治療の流れ、必要な基礎的・臨床的知識や技量、コ・デンタルスタッフとの連携などを体験する。「患者付添実習」では、大学病院のシステムや機能を理解し、また患者さんとコミュニケーションをとりつつ、患者さんの心理的問題を感受し、患者さんやご家族への配慮を体得する。これら3つの実習とグループ討議・発表を通じて、歯科医学の目的と学習の目標を明確にし、病院スタッフおよび患者さんとのコミュニケーションの大切さを理解する。

- 【学習の到達目標】**
- ・社会通念上、常識的な態度・会話を確認する。
  - ・社会人としての基本的な身なり、振る舞いがとれる。
  - ・患者さんとのコミュニケーションがとれる。
  - ・医療スタッフとのコミュニケーションがとれる。
  - ・問題点について、その要点を的確にまとめることができる。
  - ・歯科医療を行うに当たって学習しておくべき項目を列挙できる。
  - ・障がい者の身体的、精神的および心理的特徴を知り、基本的な対応ができる。また、介護の重要性を知る。

**【授業形態】**  
 医歯学総合病院を学習の場として見学実習および体験実習を行う。また、実習を通じて得られたもの、感じたことを実習日誌に記録し、最終的に感想文としてまとめる。グループ討議・発表ではグループごとに課題を設定し、討議を通じてプロダクトを作成して、全体討議で発表・討論を行う。さらに全実習を通じた感想を1分間の個人スピーチで発表する。

**【履修上の注意】**  
 ・各回の集合場所・集合時間・服装等については入学ガイダンスおよび初回授業時に指示する。

**【授業計画】**

回	日時	講義内容 (担当)	準備学習 (予習範囲)
1	4/10 (金) 1-2限	実習の説明・病院見学	事前配布資料の確認
2	4/17 (金) 1-2限	1班:患者役実習、2班:治療見学、3班:付添実習・車椅子実習	各実習の内容確認
3	4/24 (金) 1-2限	1班:患者役実習、2班:治療見学、3班:付添実習・車椅子実習	各実習の内容確認・前回の反省
4	5/1 (金) 1-2限	1班:患者役実習、2班:治療見学、3班:付添実習・車椅子実習	各実習の内容確認・前回の反省
5	5/15 (金) 1-2限	1班:患者役実習、2班:治療見学、3班:付添実習・車椅子実習	各実習の内容確認・前回の反省
6	5/22 (金) 1-2限	1班:治療見学、2班:付添実習・車椅子実習、3班:患者役実習	各実習の内容確認
7	5/29 (金) 1-2限	1班:治療見学、2班:付添実習・車椅子実習、3班:患者役実習	各実習の内容確認・前回の反省
8	6/5 (金) 1-2限	1班:治療見学、2班:付添実習・車椅子実習、3班:患者役実習	各実習の内容確認・前回の反省
9	6/12 (金) 1-2限	1班:治療見学、2班:付添実習・車椅子実習、3班:患者役実習	各実習の内容確認・前回の反省

10	6/19 (金)	1-2 限	1 班：付添実習・車椅子実習、 3 班：治療見学・車椅子実習	2 班：患者役実習、	各実習の内容確認
11	6/26 (金)	1-2 限	1 班：付添実習・車椅子実習、 3 班：治療見学・車椅子実習	2 班：患者役実習、	各実習の内容確認・前回の反省
12	7/3 (金)	1-2 限	1 班：付添実習・車椅子実習、 3 班：治療見学・車椅子実習	2 班：患者役実習、	各実習の内容確認・前回の反省
13	7/10 (金)	1-2 限	1 班：付添実習・車椅子実習、 3 班：治療見学・車椅子実習	2 班：患者役実習、	各実習の内容確認・前回の反省
14	7/17 (金)	1-2 限	グループ討議		討議・発表の準備
15	7/21 (金)	1-2 限	全体討議		討議・発表の準備

**【成績評価の方法と基準】**

担当教員による「患者役実習」の評価（10%）、患者さんによる「付添実習」の態度評価と観察記録（10%）、提出レポート（20%）、グループ討議の成果（10%）、感想発表（10%）および聴講態度評価（40%）をもとに、総括的評価を行う。

**【使用テキスト】**

指定しない。必要に応じて資料、プリントを配布する。

**【参考文献】**

必要に応じて、授業で紹介する。